



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



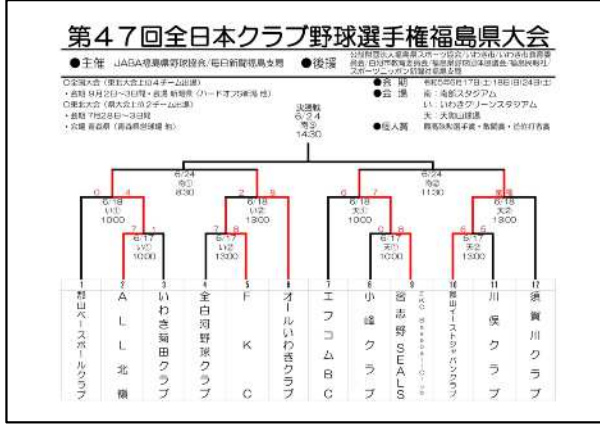
エフコムベースボールクラブ

第47回 全日本クラブ選手権福島県大会

悔しさを糧に

◆◆試合結果◆◆

二回戦	VS	EKC習志野SEALS	(6対7)
エフコムBC		3 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0	6
習志野SEALS		0 0 3 0 2 0 0 0 0 1 1x	7



沢山の応援
ありがとうございました！



先の都市対抗野球二次予選東北大会ではチーム力アップの一端を感じたところではありましたが、今回の全日本クラブ野球選手権福島県大会では、初戦敗退の辛酸を味わうこととなりました。天狗山球場まで応援にお越しを賜りました多くの皆様へ、心より感謝申し上げます。あの熱い励ましは選手を勇気づけ、奮起を促すものでしただけに残念でなりません。「今出来ることを出し尽くす」を意識して臨んだこの一戦、初回に先制点をもぎ取り、逆転を許した中盤も直ぐに同点とし、終盤の膠着状態を無得点に抑え、迎えた延長10回のタイブレークでも痺れる展開を冷静に対応、ベンチも含めて正にチームが一丸となって立ち向かった試合となりました。されど結果はご案内のとおりで、乗り越えられるもののみ与えられるという試練を野球の神様から頂戴したと考えております。

練習環境の拡充やツールの活用で伸びしろを引き出す、勝つことへのこだわりや接戦を制する勝負強さを養う、選手個々の成長への気付き等を注視する、と共にこの悔しさを糧にして来年の都市対抗野球やクラブ選手権を目指して再出発をいたします。そして、声援を送ってくれた皆様のご期待に応えられるよう努力を重ねてまいります。引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

エフコムBC 部長 阿部義浩

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

二回戦 V S EKC習志野SEALS

エフコムBCは初回表、無死一二塁から3番八百板卓丸選手のセンターオーバーの二塁打で3点を先取、先発大内選手は落ち着いた投球で序盤2イニングを無失点で抑えた。3回表には松嶋選手の三塁線を抜く二塁打で1点を追加し4対0とするも、3回裏と5回裏に点を奪われ4対5と逆転される。6回表に1番島津選手の右中間を破る二塁打で同点に追いつき、その後は相手の進藤選手(元横浜DeNAベイスターズ)と佐藤一希選手の投げ合いにより両チーム得点なく延長タイブレークに突入。10回表に島津選手のタイムリーヒットで1点を取り逆転するが、10回裏に相手のスクイズが決まり再度同点。11回裏無死満塁、スクイズを読んでウエストしたボールがワイルドピッチとなり、6対7でサヨナラ負けとなった。

大内 遼河 選手 <先発>
投手/出身校: 県立福島高校 ⇒ 東北学院大学



八百板 卓丸 選手
外野手/出身校: 聖光学院高校



島津 翔 選手
内野手/出身校: 聖光学院高校 ⇒ 国士舘大学



佐藤 一希 選手 <中継ぎ>
投手/出身校: 東海大学附属札幌高校 ⇒ 八戸学院大学



ご声援ありがとうございました!

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。